

令和4年度第4回佐倉市行政評価懇話会 要録

日時	令和5年3月22日（火）14時00分～16時30分	場所	① 議会棟第3委員会室 ② スマートオフィスプレイス
出席者	委員出席者 7名 [委員長]小川 真実 [副委員長]栗田 智 [委員]浅野 隆、飯塚 香奈子、稲垣 かおる、柴倉 宏行、立崎 貴子（五十音順）		
	事務局	（企画政策課）向後部長、和田課長、大久保副主幹、松本主査、谷川主事	
	事業担当課	（商工振興課）高橋課長 ※議事（2）のみ	
	その他	傍聴0名	
議事	（1）行政評価に関する提言書（案）について （2）地方創生拠点整備交付金等事業について（現地視察）		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「令和4年度行政評価に関する提言書（案）」の確認をし、最終取りまとめを行った。 ◆ 佐倉市スマートオフィスプレイスを見学して意見交換をし、地方創生に有効な施設であると評価した。 		
内 容			
<p>◆議事</p> <p style="margin-left: 2em;">（1）行政評価に関する提言書（案）について</p> <p style="margin-left: 2em;">（委員長）今年度の行政評価に関する提言書について、最終取りまとめを行う。</p> <p style="margin-left: 2em;">（事務局）資料1の行政評価に関する提言書（案）について、事前に各委員に内容のご確認をいただき、いただいたご意見を反映させたものとなっておりますので、各箇所を読み上げの上、最終確認を行わせていただきたい。</p> <p style="margin-left: 2em;">[【資料1】行政評価に関する提言書（案）の各箇所を読み上げ、意見の有無を確認]</p> <p><全体の総括的評価について></p> <p style="margin-left: 2em;">（委員長）「佐倉市が中長期的に市勢を発展させていく」とあるが、「市勢」ではなく「市政」ではないか。確認して必要があれば修正してほしい。</p> <p style="margin-left: 2em;">（事務局）確認して、のちほど提言書を修正する。</p> <p style="margin-left: 2em;">（委員長）今年度は、評価方法の試験的な案を出したが、来年度もこのような評価方法を続けていきたいと思う。この委員会では我々は市民代表、産業界代表として自由闊達に意見を言うが、行政の言い分もしっかり聞くというスタンスの方がより公平だと思う。コロナ禍という経験したことがない事態での切迫した対応を行政はしている。定量的な評価に拘り定めにとらわれず、定性的な評価も取り入れて言い分をしっかり聞いたうえで、よりよい佐倉市の市政を進められればと思う。</p> <p><基本施策「高齢者福祉」について></p> <p style="margin-left: 2em;">（委員長）定性的な評価の書き方に工夫の余地がある。定性的な評価は必要だと思うが、書き方を工夫しないと見づらい部分がある。具体的に数字を挙げられるところは挙げてほしいが、全ての事業について挙げてしまうとこの書式では入りきらない。メリハリのある書き方をした方がいい。細かく書くとスペースが足りなくなり、文字も小さくなるなど、悪循環になってしまうので工夫してほしい。</p> <p><基本施策「健康づくり」について></p> <p style="margin-left: 2em;">（委員長）新型コロナウイルスのワクチン接種について、コロナに限らずインフルエンザでも同じことがいえるが、佐倉市では中学生は小児科対応になるのか。子どもは、小児科に連れていくように言われたが、たまたま家の前に校医がクリニックを開いていたので、その校医のところインフルエンザのワクチンを</p>			

受けることができた。ワクチン接種と校医の取り扱いや位置づけが気になった。

(事務局) 校医・園医は基本的に指定をして、生徒の健康診断の対応、学校側の相談に対応していただき、報奨を支払っていることから、病院の営業や診療に影響することは基本的にはないと聞いている。また、佐倉市の(通常のワクチン接種)場合は、ワクチン接種のクーポン券を配っており、医療機関を自分で選んで予約をとり接種する形をとっていることから、校医でないといけないなどの指定はしていない。

(飯塚委員) (通常の) ワクチン接種の場合だと内科に予診票を持っていけば受けられるし、麻疹、風疹、日本脳炎などは内科で事前に電話すれば受けられた。コロナワクチンに関しては、何か(副反応など)あるといけないからということだと思うが、用紙には、中学生以下は小児科だけを指定されており、限定されていた。他のワクチン接種や、大人の場合は予診票さえあれば接種できるが、ある小児科では診察券のない場合は診察券を発行しないと(コロナの) ワクチン接種ができないので、事前に診察券の発行にきてほしいと言われた。普段のワクチン接種とは状況も違い、小児科でワクチン接種を受けるのは手間だったという経験から、意見を述べた。

(事務局) コロナの感染法上の位置づけの差が大きいと思う。国では、5月8日より5類に引き下げるということで、話が進んでいるが、次年度以降、おそらく5歳以上の方に対して、高齢者及び基礎疾患のある方は2回、それ以外の方は1回という形で政府から公表されてくると思う。次年度以降の(コロナの) ワクチン接種の中で、インフルエンザ同様に、通常の内科医や町医者で接種できるような改定になるのかは、まだ通知がきていない。ただインフルエンザとかその他のワクチン接種については、今でも通常の小児科に限らず内科でもできると承知している。

(委員長) コロナに関しては制度変更が予定されているので、制度上の取り扱いなどをしっかり行政の方で対応を検討していただきたい。

<全体取りまとめ>

(事務局) 先ほどの委員長からご指摘のあった、「市勢」を「市政」に修正する。

(委員長) これで全ての項目が審議された。本案をもって当懇話会の提言書とする。

(2) 地方創生拠点整備交付金等事業について(現地視察)

[施設職員の案内により、スマートオフィスプレイスを見学]

(事務局)

[資料2により、地方創生拠点整備交付金等を活用し整備した佐倉市スマートオフィスプレイスの概要について説明]

(商工振興課長) テレワークや学生利用の増加により、利用者が伸びている。今後は、利用者同士の交流促進も図っていききたい。

(事務局) 施設を見学されて、ご質問等はあるか。

(委員長) シェア工房の工具について、新しいものがほしいなどの要望はあるか。

(商工振興課長) ほぼないと思われる。シェア工房の利用は、あまり進んでいない。

(委員長) 工具等の需要が要望に合っていないことも考えられるかもしれない。シェアオフィスについては、増やす予定はあるのか。

(商工振興課長) 今のところはない。他の地区に増やすかについては政策的な判断となる。

(委員長) 本施設について、新しい働き方の提供の場として、地方創生に寄与する施設という評価でよろしいか。

[各委員、承諾]

(事務局) そのほか、全体を通して、委員の皆様から何かご意見はあるか。

[各委員、意見なし]

(事務局)

それでは、本日の議事はこれで終了する。

※懇話会終了後、西田市長に提言書の手交が行われた。

(当日 16 : 30～17 : 00 佐倉市役所 1 号館 3 階応接室)

(以上)